

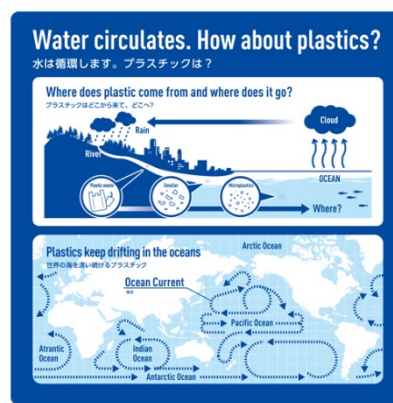
“未来の地球環境のためにできることから始めよう” 新コーナーを開設し、各種プログラムを実施します

海遊館(大阪市港区)では、2019年4月1日(月)から、館内の「新体感エリア」にて、ジンベエザメの胃から見つかったプラスチック製の櫛などを展示し、地球規模の海洋環境問題となっている使い捨てプラスチックゴミについて考える機会を創出し、持続可能な開発目標(SDGs)やエシカル消費など未来のための暮らし方を普及啓発する新コーナーを開設します。

また未来の環境のために、できることから始める取り組みのひとつとして、館内のショップで使用する商品バッグをプラスチック製から紙製に変更します。加えて、環境月間を含む6月30日(日)までの3ヶ月間は、“未来の環境のためにできること”キャンペーンとして、様々なプログラムを開催します。



新体感エリア内に設置する環境啓発コーナー（全体イメージ）



自然循環する水と海を漂い続けるプラスチックゴミ

海遊館では、2013年に地球規模で環境変化の影響を受ける地域をテーマにした「新体感エリア」を設置し、生き物と自然環境の関係を体感型の展示方法でお伝えしてまいりました。現在、海洋プラスチックゴミの問題が注目され、国際的な取り組みとして、持続可能な開発目標(SDGs)の達成が重視されています。また6月末には、G20大阪サミットも開催されることから、地元大阪の施設として環境問題や自然環境に配慮した暮らし方の普及啓発について、より一層貢献してまいります。

【“未来の環境のためにできること”キャンペーン（予定）】 ※各プログラムの詳細は、海遊館 HP でお知らせいたします。

	内容	4月	5月	6月（環境月間）
新コーナー開設	海洋プラスチックゴミやエシカル消費について実物の展示とグラフィックで解説	●	●	●
音声ガイド	音声ガイドシステムで環境コーナーを解説		●	●
大阪湾スナメリ調査	一般募集した参加者と調査船でスナメリを探しながら大阪湾の自然環境を体験	●	● ●	● ●
シンポジウム	「海と人の関係を考える」をテーマに開催		●	
ワークショップ	「世界カワソウの日」にエコバッグづくり体験		● ● ● ●	
大阪湾磯観察	磯の生物観察と漂着プラスチックゴミの回収			●
環境啓発ガイドツアー	ジンベエザメの給餌シーン見学後、海洋プラスチックゴミについて考えるツアー			●
環境ワークシート	地球規模の環境変化と生き物の関係を知る			●